

## ●● （会計） 定時取引マスタ活用のおすすめ

頻繁に発生する取引を仕訳マスタとして登録しておくことで、日々の入力効率化を進めることができます。この仕訳マスタは、「単一仕訳」と「複合仕訳」での作成・登録が可能です。

### 定時取引仕訳設定

#### ◆毎月発生する【単一仕訳】をマスタ登録

取引の日付・内容・相手先・金額等が一定で、その入金や支払いが毎月定期的に発生する取引をパターン別に設定しておけます。

【設定例】パターン名「経費」として登録

広告宣伝費 9,000 / 普通預金 9,000 (摘要：看板使用料) (補助科目：A銀行)
保険料 21,000 / 普通預金 21,000 (摘要：火災保険料) (補助科目：A銀行)
通信費 5,500 / 普通預金 5,500 (摘要：携帯電話代) (補助科目：B銀行)

【仕訳入力】

「仕訳日記帳」メニューで利用します。

画面上部メニューバー [定時取引取込] を押し、定時取引マスタを呼び出します。

### 定時取引伝票設定

#### ◆よく使う【複合仕訳（伝票）】をマスタ登録

取引の内容・相手先・金額等が一定の伝票を設定しておけます。金額ゼロ、および貸借不一致の状態でも登録が可能です。

【設定例】

地代家賃 100,000 / 普通預金 0
諸会費 30,000 /
支払手数料 0 /
支払報酬 0 / 現金 0 (補助科目：C社)
/ 預り金 0

【仕訳入力】

「会計伝票」メニューで利用します。

科目や金額欄にカーソルを合わせると、画面上部メニューバーの [定時取引取込] ボタンが有効になります。



**決算修正仕訳の入力時にも活用できます。**

仕訳日記帳（決算修正）

会計伝票（決算修正）

～「決算処理」タブ内

定時取引マスタに登録された仕訳は、決算修正仕訳入力時にも呼び出すことが可能です。事前に決算修正仕訳の形をマスタ登録しておくことで、毎年の仕訳入力を効率的におこなうことができます。

入力方法 ⇒ 各メニューの画面上部メニューバーにある [定時取引取込] ボタンを実行